

2) 多様な機能を持った「道の駅」の整備について



1. 「道の駅」の課題

- ①大地震など、大災害が発生した場合、道路利用者の避難場所や情報入手は充分では無い。
- ②「道の駅」利用にとどまらず、周辺の散策情報や地域との交流など、様々なニーズがある。
- ③ドライブ途中での、観光情報入手など、地域情報に対するニーズは高い。

■中越地震では

○被災直後から被災された方の避難場所や支援施設として活用(6駅)

- ・会議室、駐車場等を避難所として活用
- ・駐車場への仮設住宅設置

○道路情報や被災情報等の発信拠点として活用(37駅)

- ・道路利用者に被災地の情報を提供

道路情報や被災情報等の
発信拠点として活用

避難所として活用



道の駅「豊栄」



道の駅「越後川口」

無料温泉サービス



道の駅「ちぢみの里おぢや」

復旧車両の拠点として活用



道の駅「ちぢみの里おぢや」

■「道の駅」を拠点として、バードウォッチング等、「自然とふれ合う機会」の提供を目的に野鳥の会との協働事業を実施。

- ・開催日時:平成17年11月12日(土)
- ・会場:道の駅「川場田園プラザ」
- ・主催:(財)日本野鳥の会
- ・協力:国土交通省、川場村
- ・参加人数:約 700人

バードウォッチングを楽しむ参加者



クイズラリーを楽しむ参加者



■規制情報や隣接する「道の駅」情報など、旅先での情報ニーズは高いものの、十分な情報提供ができていない駅も存在。

路面情報や規制情報、次の「道の駅」
情報などの充実した情報提供



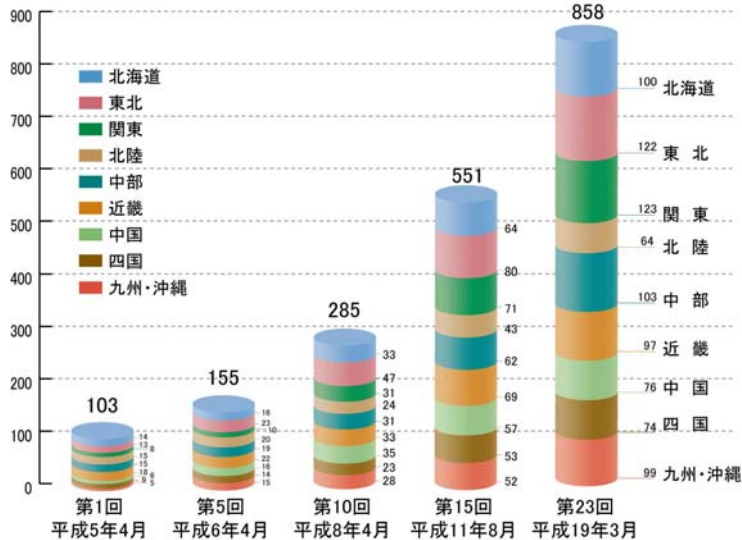
商品に埋もれた端末のみでの情報提供



2. 「道の駅」の現状

「道の駅」は全国で858駅が登録(H19. 3)され、年間推定で約1.7億人に利用されるなど、道路利用者の休憩施設、地域の拠点として活用されている。

「道の駅」の登録数の推移



休憩風景 道の駅「日和佐」での無料足湯サービス



「富浦人形劇」の無料上演 道の駅「富浦」

- ①1駅当たりの平均利用者は**21万人/年**
 全国の「道の駅」の利用者は**約1.7億人/年**
 (824駅 * 21万人/駅・年 = 1.7億人/年)

- ②最も利用者の多かった「道の駅」は
 ・**第1位: 丹波マーケス(京都)、190万人/年**
 (参考: **横浜スタジアム約162万人/H16**)

- ・第2位: 伊東マリンタウン(静岡)、176万人/年
- ・第3位: 寒河江(山形)、155万人/年
- ・第4位: 富士川楽座(静岡)、147万人/年
- ・第5位: あら・伊達な道の駅(宮城)、145万人/年

*利用者は道の駅施設でのレジ人数。

*駐車場、トイレだけの利用者はカウントされていない。

3. 今後の展開（防災拠点化）

市町村等地方自治体と連携し、各地域毎にそれぞれの「道の駅」にふさわしいメニューにより、災害時に対応した防災機能を充実させる。

地方自治体と連携し、それぞれ必要な施設等を整備

道路管理者

- 例) ◆非常用水の確保
- ◆非常用電源の確保
- ◆衛星通信等の配備
- ◆非常トイレの整備
- ◆災害資材の備蓄

地元自治体

- ◇地域防災計画への位置付け
- ◇安否・医療情報等の提供
- ◇飲料水・毛布等の備蓄
- ◇防災ヘリポートの整備
- ◇防災訓練・総合学習の場として活用

防災「道の駅」のイメージ



【参考】防災への備えの現状（直轄国道沿N=297）
水：35%、防災トイレ：2%、電源：11%、衛星0%

■ 防災拠点整備例 道の駅「みかも」(栃木県)

○情報提供施設



道路の規制、状況、被災地の状況等の提供

○給水タンク(飲料用)



至 前橋

○非常用電源装置



○貯水槽(トイレ用)
(地中)



- トイレ、飲料水等の提供、非常用電源の確保
- 首都圏大地震時の北から首都圏への支援物資輸送拠点
- 道路の規制情報や被災情報等の提供

3. 今後の展開（サービスの充実）

- ・道路情報や医療情報等の情報提供により、ドライバーへのサービス向上を図る。
- ・「道の駅」の連携により、ドライバーへのサービス向上を図る。

情報提供によるサービスの充実



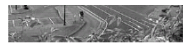
道路情報の充実



医療情報の充実
ピクトイメージ(例)



案内人による情報提供



「道の駅風の丘」会報



「道の駅風の丘」を支える栗田市支配人とインフォメーションの栗田美津子さん



様々な情報集めて
案内の拠点となる

道の駅
道の駅風の丘

道路、観光、宿泊、行事…
「知りません」は禁句

サービス向上への様々な取り組み



「道の駅」が連携した会議により、サービス向上への取組について検討

様々な取組

職員の研修

トイレマナーアップキャンペーン



「道の駅」職員を対象とした研修会



3. 今後の展開（機能の多様化）

・基本3機能に加え、機能の多様化により、「道の駅」の新たな展開を図る。

基本3機能



+

■ 機能の多様化

- ・交流活動拠点（探鳥、ウォーキング、サイクリング等）
- ・防災拠点（地震・津波・豪雪 等）
- ・日本風景街道拠点 等

機能の多様化



トレッキングツアー拠点



歴史国道散策拠点



日本風景街道拠点



サイクリング拠点

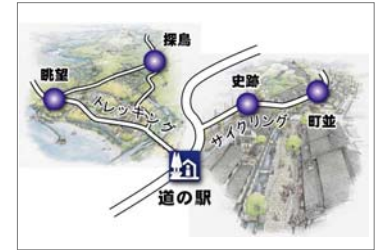


地吹雪避難拠点



とるばスポット

面的展開



面的展開



地域内への案内・誘導拠点